



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 兵機海運株式会社
コード番号 9362 URL <http://www.hvoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 洋治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 田中 康博

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,439	△4.4	22	△82.2	△22	—	△45	—
24年3月期第3四半期	9,877	4.2	123	△17.4	47	△21.0	37	△3.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △63百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△3.82	—
24年3月期第3四半期	3.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	11,858	1,552	13.1	131.14
24年3月期	12,401	1,655	13.3	138.67

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,552百万円 24年3月期 1,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の配当金額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	0.2	100	△42.6	70	△16.9	10	△75.7	0.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3.「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	12,240,000 株	24年3月期	12,240,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	403,417 株	24年3月期	302,088 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	11,854,322 株	24年3月期3Q	11,938,381 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、震災復興需要等を背景に緩やかな回復基調のなか、景気対策への期待感からの円安・株高もあり全般的な経済活動に緩やかな持ち直しの兆しが見え始めております。しかしながら、欧州の債務危機や新興国の成長鈍化、さらには日中間の領土問題等の影響により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、総合物流業者として社会的貢献を目的として営業展開を行いました。その結果、事業別の業績は以下のとおりであります。

内航事業では、主要取扱貨物である鋼材の国内需要が弱いことから輸送が振るわず運賃収入が減少する一方、固定費である支払い備船料の負荷が収益を圧迫することとなりました。その結果、売上高3,857百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益16百万円（前年同期比82.1%減）となりました。

外航事業にありましては、本船の設備改造による車両の運搬が増加したことや、期中から“HYOKI No. 8”を自社運航に切り換えたことにより、売上高982百万円（前年同期比11.5%増）となりましたが、荒天や荷役混雑による滞船等で運航収支が圧迫されたことと裸備船解除による未収備船料の貸倒引当処理もあって、155百万円（44百万円の悪化）の営業損失となりました。

港運事業では、世界経済の減速のなかで港運事業全般にも力強さが感じられない状況が続いております。また、一時期の落ち込みから回復しつつあるアパレル貨物、輸入肥料や輸出機械類の取扱いに若干の光明があったものの、日中関係の悪化は国際複合輸送業務を始めとする輸出入業務にも大きな影を落とし、厳しい経営環境下にあります。その結果、売上高は3,712百万円（前年同期比4.9%減）、管理経費の節減に努めましたが、営業利益133百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

倉庫事業では、姫路地区の鋼材倉庫ではその取扱いに安定的な伸びが見られ、収益改善に大きく寄与いたしました。また、神戸物流センターでは輸出入貨物の取扱量が低迷するなか、国内貨物等の積極的な取組みに注力してまいりました。一方、大阪物流センターでは、大阪港の国際的地位が徐々に低下し、結果として固定費の比率が徐々に高まり、収支上の厳しさが増してまいりました。その結果、売上高879百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益26百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,439百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益22百万円（前年同期比82.2%減）、経常損失22百万円（前年同期は経常利益47百万円）、四半期純損失は45百万円（前年同期は四半期純利益37百万円）と減収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、流動資産は3,308百万円となり、前連結会計年度末と比較して288百万円減少いたしました。これは主に、売掛金179百万円、現金及び預金53百万円等が減少したことによるものであります。固定資産は8,549百万円となり、前連結会計年度末と比較して254百万円減少いたしました。これは、内航船建造にかかわる建設仮勘定114百万円の増加に対して、減価償却による有形固定資産の減少327百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は5,513百万円となり、前連結会計年度末と比較して275百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金198百万円等が減少したことによるものであります。固定負債は4,792百万円となり、前連結会計年度末と比較して165百万円減少いたしました。これは主に長期借入金227百万円等が減少したことによるものであります。

純資産の部は、1,552百万円となり、前連結会計年度末と比較して103百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金69百万円等が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少し1,442百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,496	1,442
受取手形及び売掛金	1,728	1,570
原材料及び貯蔵品	53	61
前払費用	22	36
未収還付法人税等	—	4
その他	306	216
貸倒引当金	△10	△24
流動資産合計	3,597	3,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	4,462	4,462
減価償却累計額	△1,587	△1,710
建物及び建物付属設備（純額）	2,874	2,751
船舶	3,729	3,964
減価償却累計額	△1,361	△1,544
船舶（純額）	2,367	2,419
土地	1,623	1,623
その他	454	450
減価償却累計額	△331	△345
その他（純額）	122	104
建設仮勘定	—	114
有形固定資産合計	6,988	7,013
無形固定資産		
その他	33	31
無形固定資産合計	33	31
投資その他の資産		
投資有価証券	903	883
その他	934	631
貸倒引当金	△55	△9
投資その他の資産合計	1,782	1,504
固定資産合計	8,804	8,549
資産合計	12,401	11,858

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,218	1,178
短期借入金	4,403	4,204
未払法人税等	5	—
賞与引当金	3	0
その他	157	129
流動負債合計	5,788	5,513
固定負債		
長期借入金	4,318	4,091
退職給付引当金	248	259
債務保証損失引当金	174	174
船舶修繕引当金	56	109
その他	160	157
固定負債合計	4,957	4,792
負債合計	10,746	10,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	1,041	972
自己株式	△76	△92
株主資本合計	1,610	1,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	108
繰延ヘッジ損益	△79	△81
その他の包括利益累計額合計	44	26
純資産合計	1,655	1,552
負債純資産合計	12,401	11,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,877	9,439
売上原価	8,642	8,328
売上総利益	1,234	1,111
販売費及び一般管理費	1,111	1,089
営業利益	123	22
営業外収益		
受取利息	19	11
受取配当金	15	16
持分法による投資利益	3	5
貸倒引当金戻入額	—	22
その他	17	24
営業外収益合計	55	79
営業外費用		
支払利息	117	103
その他	14	20
営業外費用合計	131	124
経常利益又は経常損失(△)	47	△22
特別損失		
貸倒引当金繰入額	8	—
船舶修繕費	—	29
特別損失合計	8	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39	△52
法人税等	1	△7
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	37	△45
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37	△45

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	37	△45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△15
繰延ヘッジ損益	△14	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△77	△18
四半期包括利益	△39	△63
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39	△63
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。